

がん看護に関する総合的な研修

# がん相談支援の有効な活用

川崎市立川崎病院

緩和ケア認定看護師

がん相談支援相談員

大河 寿子

令和5年2月24日(金)



# がん相談支援の有効な活用

## 1. がん相談とは

2. 治験、先進医療を受けたいと言われたら

3. 補完代替医療の位置づけと患者への対応

# 1. がん相談とは

聞いたことはあるけど…  
実際にどんなことを相談で  
きるのかよくわからない



# 第3期がん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）（概要）

## 第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

## 第2 分野別施策

### 1. がん予防

- (1)がんの1次予防
- (2)がんの早期発見、がん検診  
(2次予防)

### 2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん  
(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん  
(※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

### 3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

### 4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

## 第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

# がん相談支援センターの主な業務

- がんの病態や標準的治療法等、がん治療に関する一般的な情報の提供
- 自施設で対応可能ながん種や治療法等の診療機能及び、連携する地域の医療機関に関する情報の提供
- セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介や医療機関の紹介
- がん患者の療養生活に関する相談
- 就労・妊孕性温存に関する相談
- 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援

# 1) がん相談支援センターはどこにあるのか？

がん診療連携拠点病院に設置されている『がんの相談窓口』



県内 地域がん診療連携拠点病院 22施設

神奈川県ホームページより

# 1) がん相談支援センターはどこにあるのか？

当院のがん相談支援センター 1F21番



# がん相談支援センター

相談員常駐



対面・電話相談



がん相談



料金 無料



予約可能



# がん相談支援センター

当院の患者さんでなくても利用可能

匿名でも可能



がん相談

がんと診断される前でも利用可能

# がん相談支援センター



ご家族のみ  
の相談も可能

療養生活上の心配や  
困りごとの相談も可

がん相談

必要時は専門の  
スタッフへ連携

許可を得て  
カルテ記載



# がん相談支援センター



ただただ不安で  
仕方がない方も

がん相談



『がんかもしれない』と言われて、  
どうしたら良いかわ  
からない方も

あの患者さん大丈夫かな？  
何かサポートが必要そうだな…



そう感じたら…

# がん相談支援センター

をご案内ください



# がん相談支援の有効な活用

1. がん相談とは

**2. 治験、先進医療を受けたいと言われたら**

3. 補完代替医療の位置づけと患者への対応

# 治験、先進医療を受けたいと言われたら

先進医療を受けたいんだけど…？

治験を受けるにはどうしたらいい？



# 治験、先進医療を受けたいと言われたら



## 2. 治験、先進医療を受けたいと言われたら

まずおさえておきたい

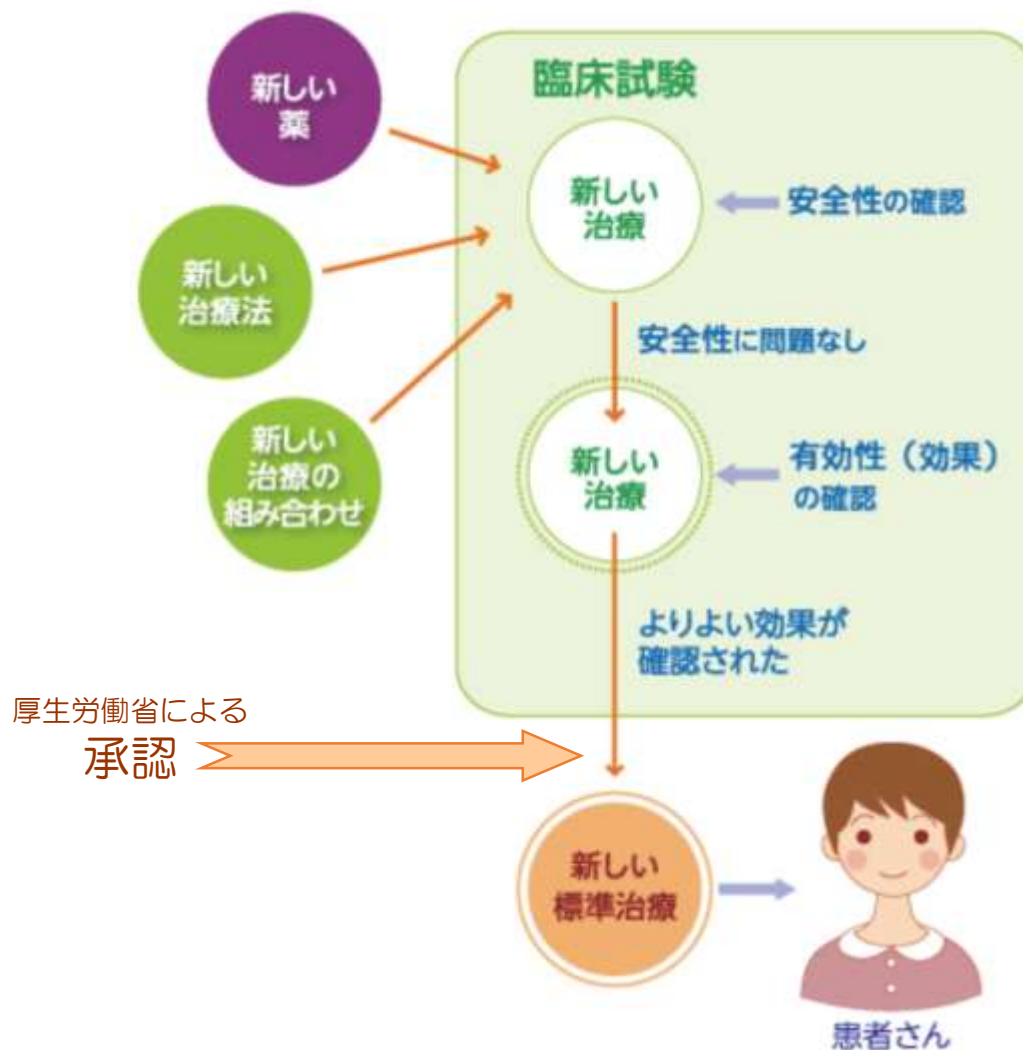
### 標準治療

臨床試験により、安全性や有効性が確認された  
現時点で最良の治療

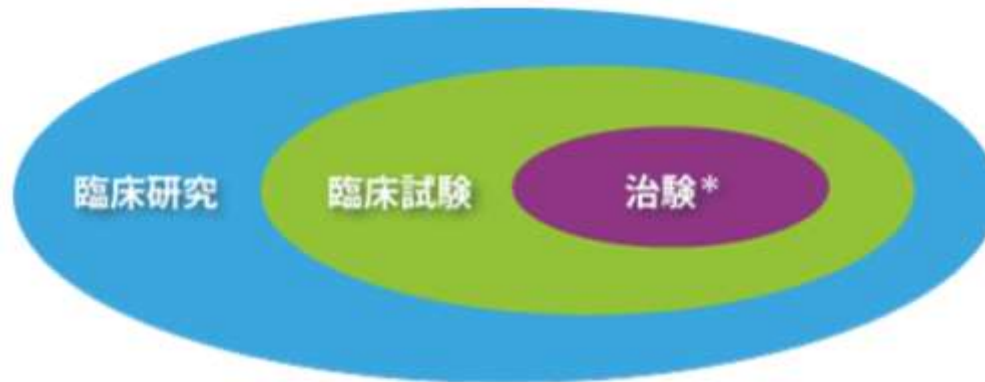
標準治療  $\neq$  平均的な治療



# 標準治療ができるまで



# 臨床研究の枠組み



\*臨床試験の中でも、厚生労働省から薬・医療機器としての承認を得る目的で行われる

がん情報サービス 臨床試験について 研究段階の医療 基礎知識より抜粋

臨床研究	人を対象に行われるすべての研究
臨床試験	薬の投与、手術、放射線治療などにより、人体に対して変化を伴う介入研究
治験	未承認薬や適応外薬、新しい医療機器等に対して、厚生労働省から承認を得ることを目的として行う臨床試験

# 研究段階の治療を受けるには



研究段階の治療を受けるための判断は、主治医を通して行われます

誰が受けられるか

- **研究内容・目的に合った方**(疾患・治療歴など)
- 他に病気がなく、安全性確保のため**体調に余裕がある**
- **不利益を被る可能性がある**ことを十分に理解した方
- 参加条件の『**適格規準**』を満たすか検査で確認

# 研究段階の治療を受けるには



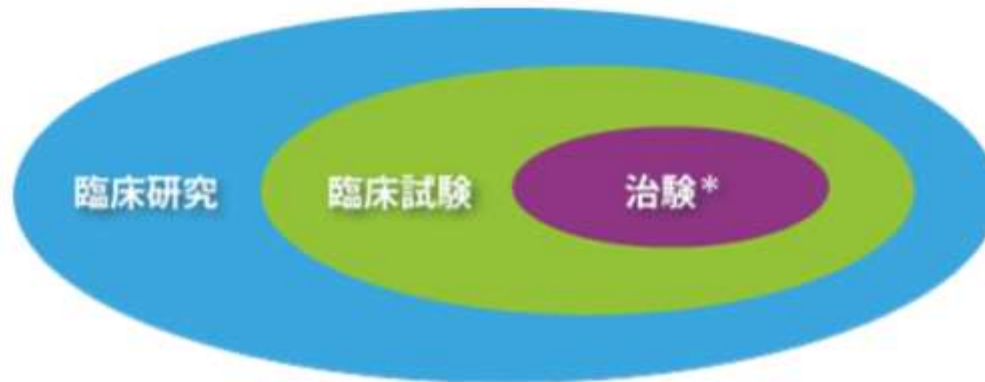
研究段階の治療を受けるための判断は、主治医を通して行われます

## どこで受けられるか

- 研究内容を審査する体制が整備されている施設
- 患者さんに対して緊急対応ができる体制が整備された施設

参加募集には研究の実施計画の  
立案・審査等に時間を要す  
また、研究期間外は受けられない

# 臨床研究の枠組み

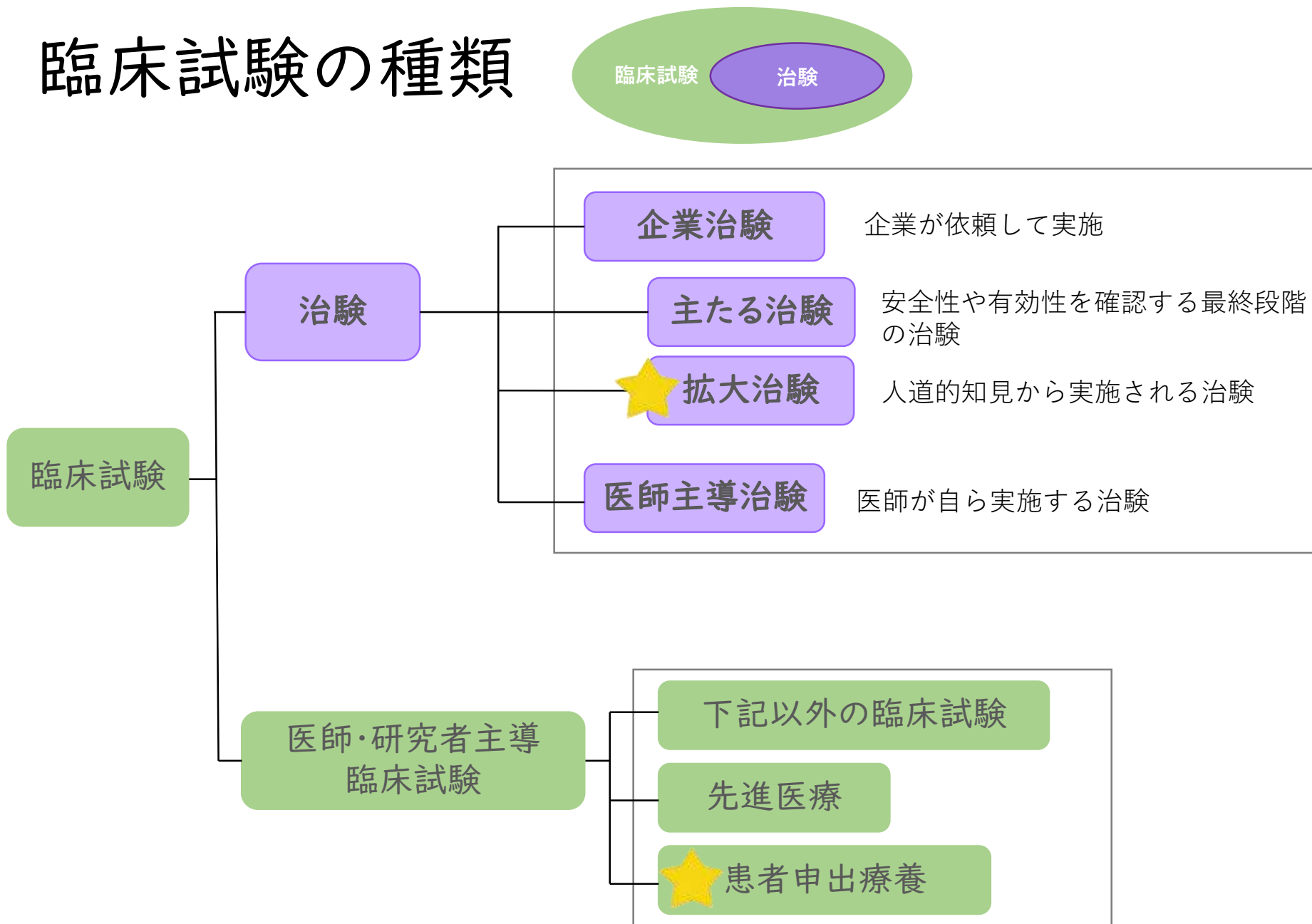


\*臨床試験の中でも、厚生労働省から薬・医療機器としての承認を得る目的で行われる

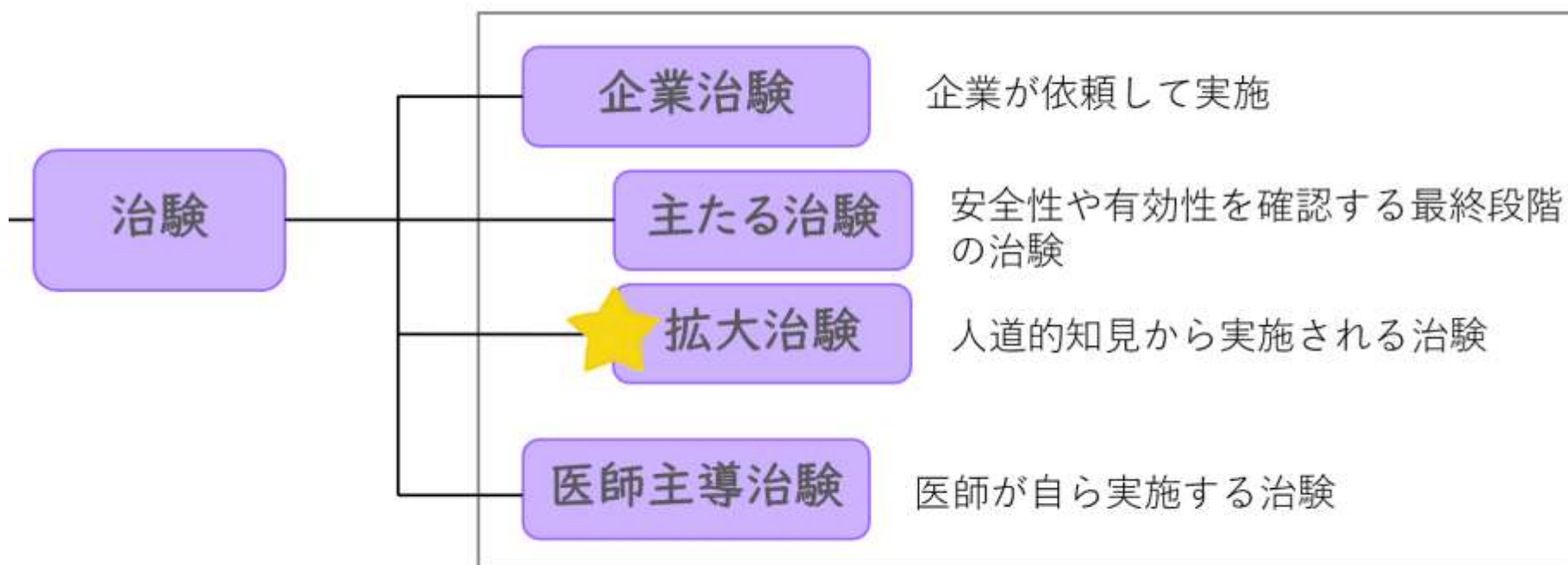
がん情報サービス 臨床試験について 研究段階の医療 基礎知識より抜粋

臨床研究	人を対象に行われるすべての研究
臨床試験	薬の投与、手術、放射線治療などにより、人体に対して変化を伴う介入研究
治験	未承認薬や適応外薬、新しい医療機器等に対して、厚生労働省から承認を得ることを目的として行う臨床試験

# 臨床試験の種類



# 治験の種類



## ★③拡大治験(人道的知見から実施される治験)

患者さんからも治験へのアクセスを充実させる仕組み

対象者	<b>現在治験の対象とならない患者</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・必要な薬の承認および保険適用までの期間を待つことができない生命に重大な影響がある疾患をもち、既存の治療法に有効なものが存在しない</li><li>・新しい薬などを検討するにあたり、企業治験や医師主導治験の対象とならない患者</li></ul>
対象となる 治験薬/医療機器	<b>厚生労働省で承認されていないもの</b> 主たる治験の実施は終了したがまだ承認されていない、あるいは実施中(被験者が試験参加中で募集は終了している)の治験薬で行う試験



## ④ 医師主導治験

医療上の必要性に基づき、企業ではなく医師が治験を実施することができる制度

開発



製薬企業の採算  
性等の理由

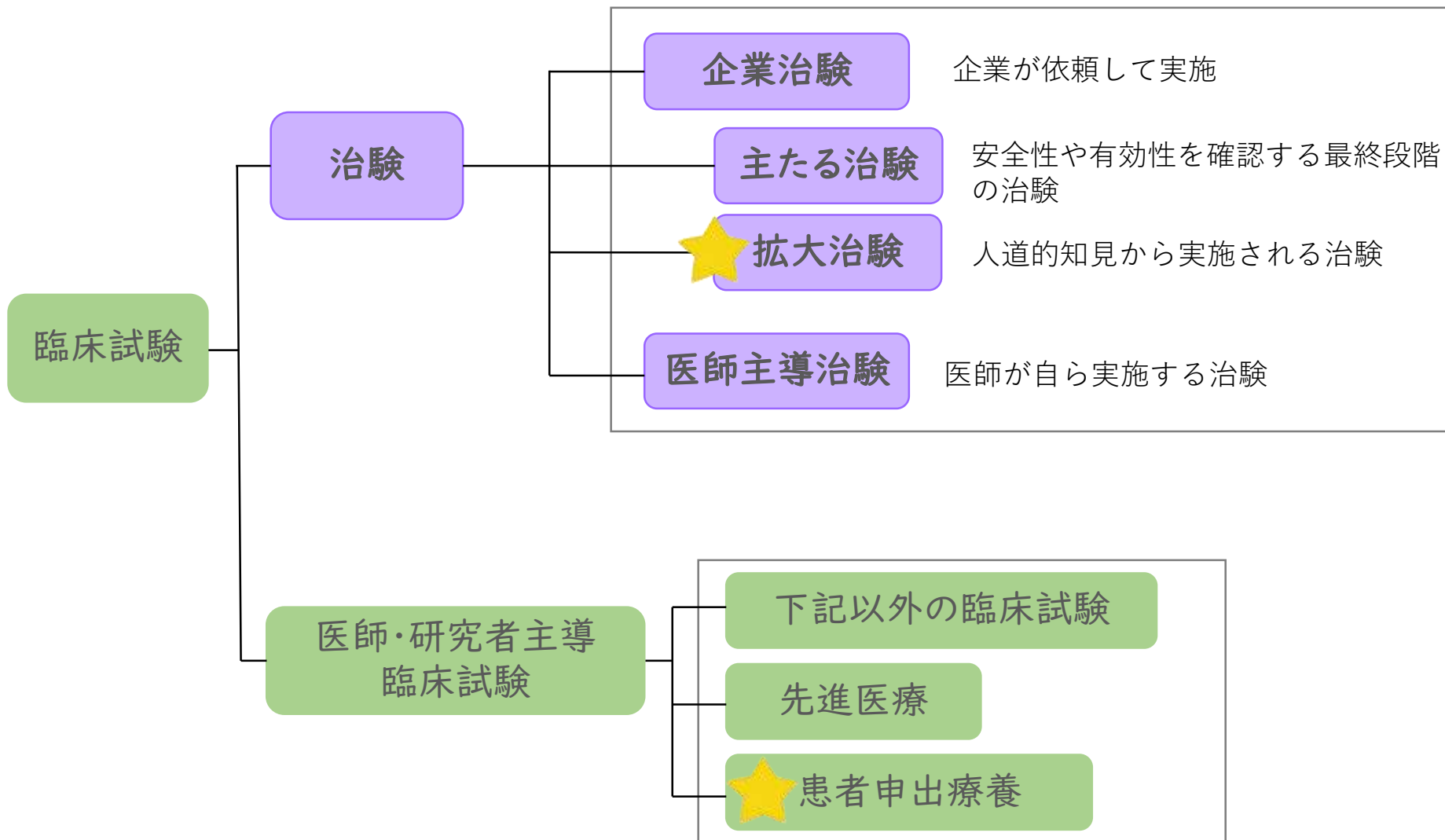
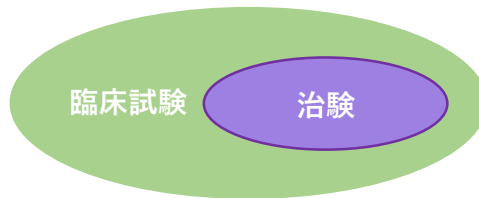
承認



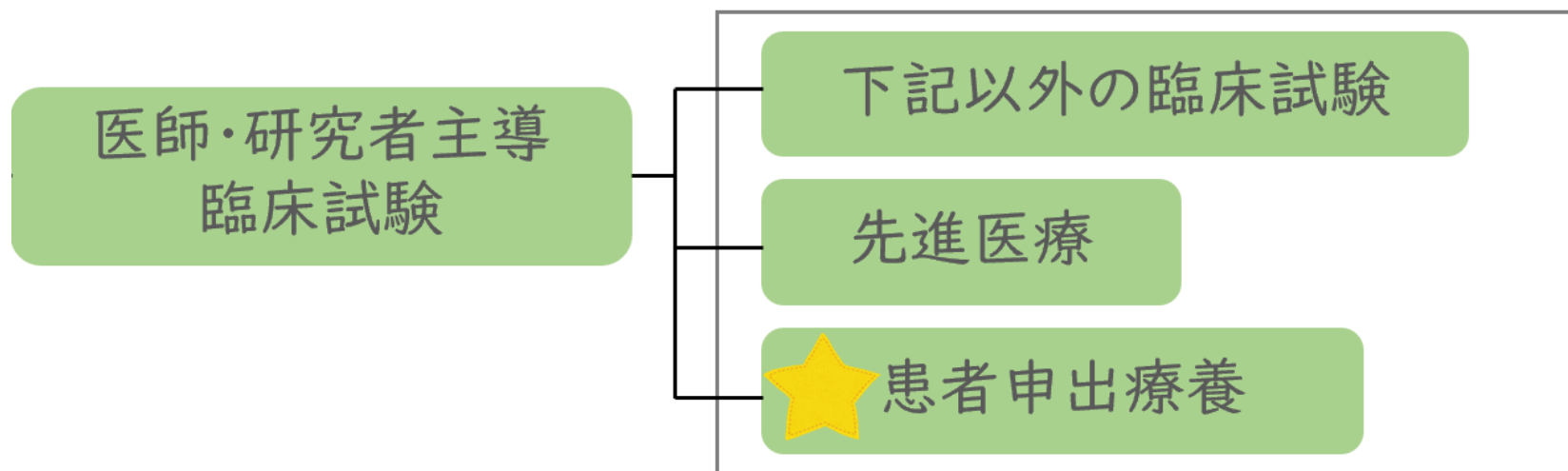
海外では認証済、  
国内未認証

その疾患に対して  
使用が認められな  
い

# 臨床試験の種類



# 治験以外の臨床試験の種類



# 先進医療

- 保険診療とすべきかどうかの評価が必要であると厚生労働大臣が定めた治療法
- 医療技術ごとに一定の施設基準を満たしていることを厚生労働大臣に認められた医療機関でのみ利用可能
- 86種類(令和5年2月1日現在)

# 先進医療

## 先進医療の一部と神奈川県内実施施設

先進医療技術名	実施医療機関
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	聖マリアンナ医科大学病院
陽子線治療	湘南鎌倉総合病院
重粒子治療	神奈川県立がんセンター
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	該当施設なし
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん	該当施設なし
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	東海大学医学部附属病院
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	神奈川県立がんセンター 北里大学病院

かん じゃ もうし で りょう よう

# ★患者申出療養

日本では一般に行われていないけれど、海外で行われている治療法があるらしい。自分にも使えるような可能性を探りたい。

治験に入りたかったけれど、対象外になってしまった。同じ治療を受けることはできないか...



試してみたい治療法があるのですが、都会の病院でしか行われていないようです。とても通えないので、近くの病院で受けることはできないか。

先進医療が行われていたようだけど、今は患者を募集していないみたい。行う方法を知りたい。

困難な病気と闘う患者の思いに応えるため、先進的な医療について、患者の申出を起点とし、安全性・有効性等を確認しつつ、身近な医療機関で迅速に受けられるようにするもの

かん じゃ もうしで りょう よう  
患者申出療養



患者からの申出

主治医と十分に話し合う

主治医と相談

申出を元にして中核病院と連携

臨床研究中核病院で計画

計画書を元に丁寧に検討

国の会議で検討

計画書の受理から6週間  
以内に結論、実施

患者申出療養の実施

# 研究段階の医療の費用

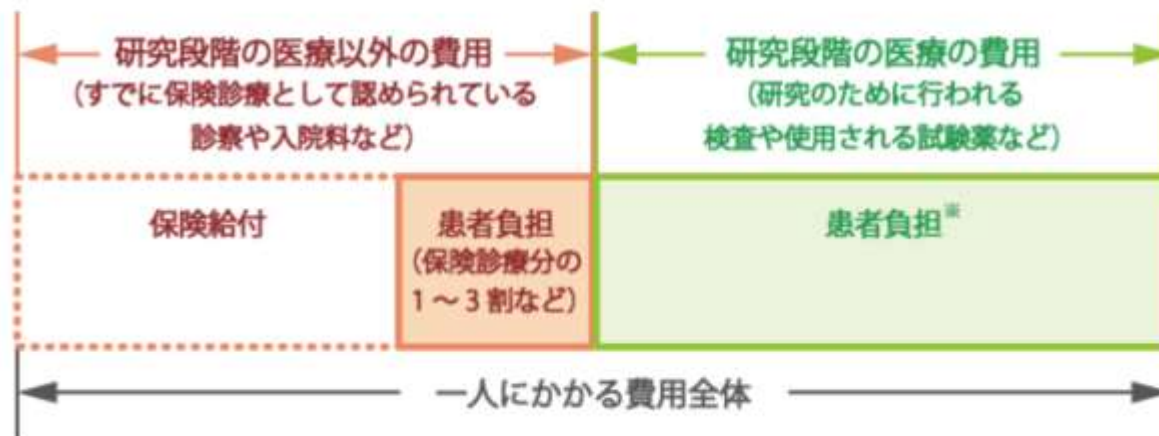
## • 日本の国民皆保険

必要かつ適切な医療は基本的に保険診療

保険診療と保険外診療の併用（いわゆる混合診療）は原則禁止

## • 保険外併用療養費制度

一人にかかる費用全体に対して保険外併用療養費制度を利用した場合の患者負担





患者はどうしてそんな質問をするのか？  
立ち止まって考えてみましょう

不安



恐れ

# がん相談支援の有効な活用

1. がん相談とは

2. 治験、先進医療を受けたいと言われたら

3. 補完代替医療の位置づけと患者への対応

# 補完代替医療とは

## 国立補完代替医療センター(米国)の定義

『一般的に従来の通常医療とは見なされていない、さまざまな医療ヘルスケアシステム、施術、生成物などの総称』

日本において「補完代替医療」の定義はないが、

現代医学とは異なる施術・民間療法などと解釈されている

## 補完代替医療の分類(米国NCCAMによる：2012.2.1時点)

分類と名称	内 容
天然産物 (Natural Products)	ハーブ、ビタミン、ミネラル、栄養補助食品、プロバイオティクスなど
心身医療 (Mind and Body Medicine)	瞑想、ヨガ、鍼灸、深呼吸訓練、催眠療法、イメージ療法、漸進的弛緩法、気功、太極拳など ※アーユルベータ医療（インド伝統医学）や中国伝統医学の概念が背景にある
手技療法と身体技法 (Manipulative and Body-Based Practices)	脊椎の徒手整復術（マニピュレーション）、マッサージ療法など ※カイロプラクティックやオステオパシー医学の概念が背景にある
その他 (Other CAM practice)	運動療法（ピラティス、ロルフイングなど）、エネルギー療法（レイキ、ヒーリングタッチなど）、ホメオパシーなど

(※複数のカテゴリーに該当するCAMもあります)

※日本では漢方薬は保険診療として認められ、広く通常医療において利用されています。しかし米国において漢方薬は補完代替医療として認識され、法律上は医薬品ではなく、現時点ではハーブ、食品に分類されています。

# 補完代替医療の実態

【日本のがん医療現場における補完代替医療利用実態に関する調査結果】

2001年「我が国におけるがんの代替療法に関する研究」兵頭ら

44.6%のがん患者が何かしらの補完代替医療を利用 = 約2人に1人

利用している  
補完代替医療の種類

<u>健康食品・サプリメント</u>	96.2%
(漢方、ビタミンを含む)	
気功	3.8%
灸	3.7%
鍼	3.6%
(複数回答可)	



利用している健康食品・  
サプリメントの種類

キノコ類	
アガリクス	60.6%
AHCC	7.4%
レイシ	6.3%
メシマコブ	4.4%
プロポリス	28.8%
漢方薬	7.1%
キトサン	7.1%
サメ軟骨	6.7%
ウコン	5.9%
ビタミン	4.8%
クロレラ	3.7%
(複数回答可)	

# 補完代替医療の実態

【日本のがん医療現場における補完代替医療利用実態に関する調査結果】

2001年「我が国におけるがんの代替療法に関する研究」兵頭ら

補完代替医療を利用しているがん患者の背景

## 補完代替医療を利用する目的

がんの進行抑制	67.1%
治療	44.5%
症状緩和	27.1%
通常医療を補完するため	20.7%

(複数回答可)

## 補完代替医療を利用し始めたきっかけ

家族や友人からの勧め	77.7%
自らの意思で	23.3%
新聞・雑誌	8.3%

(複数回答可)

欧米の実態調査とは異なり、日本は「健康食品・サプリメント」が多く、利用目的も「がんの進行抑制」「治療」と答えた人が多い

# 補完代替医療の利用のきっかけ

補完代替医療に関するアンケート調査結果

厚生労働省がん研究助成金による「がんの代替療法の科学的検証と臨床応用に関する研究」班

医師や看護師などの補完代替  
医療に対する否定的な考え方

家族の期待



補完代替医療に対する**周囲の人の態度や考え方**などの要因が強く影響

# 患者やその周囲の人から相談を受けたら

科学的に証明された補完代替医療は現時点で存在しない

- 現行の治療が主役で、補完代替医療はあくまでサポート役であることを理解してもらう必要がある
- 患者が補完代替医療に依存・傾倒し、標準治療を受ける機会を失わないようにする

主治医に相談するように促す

- 現行治療との相互作用等の問題もあるため主治医への相談が必要
- 主治医への相談が必要とっていない患者は意外と多い



# 患者やその周囲の人から相談を受けたら

## 説得しないよう留意

- 患者の心理的背景も理解し、患者自身が納得して判断できるようにサポートする

## 突き放すのではなく、見守る

- 安全性に問題がない場合、継続するか否かは患者の判断
- 突き放すのではなく、経過を十分に観察し「QOL改善に効果がみられるか？」「かかる金額は効果に見合うものか」など個別に対応

次回の  
がん看護に関する総合的な研修は



令和5年3月22日(水)

# がん化学療法の看護

がん化学療法看護認定看護師

渡邊 恭子

